

# CSCL Research Group Winter Meeting 2000

INFORMATION TECHNOLOGY & TEACHER EDUCATION

## - Overview -

NAKAHARA, Jun  
Graduate School of Human Sciences,  
Osaka University

### 本研究会の意義

- 情報化の中の教師たち
- カリキュラム改革の中の教師たち
  - 教師の言説のレトリック
    - 自然発生的に変わっていくハズ
    - リストラ社会に教師だけノホホンでいいわけがない
    - 文部省が言っているからやらなければならない
    - やらなければ教育の明日に未来はない
  - 教師の言説をめぐる精神主義的傾向
    - 努力
    - 意識改革

### 本研究会の意義

- 具体的手だてやモデルの喪失
  - カリキュラム改革と教師教育の不連続性
    - 教師であるとは何か？
    - 教師が成長するとは何か？
    - 教師を支援するとはどういうことか？
  - にもかかわらず
    - 教師教育が重要だという認識だけが先走りする故に、無責任な言説があとをたたない

### 本研究会の目的

- 3つの領域の越境
  - 情報化
  - カリキュラム改革
  - 教師教育
- 3つのプラグマティックな問い
  - 何がおこっているのか？
  - どういう手だてがありうるのか？
  - どう改善できるのか？

### 本研究会の構成

- 教育改革一般
- 教師教育 – Reflection & Narrative
- 情報化の中の教師
- 教師のテクノロジー支援
- 今、変革の学校における教師の支援
  
- 答えをだすことよりも問いをたてること

これからの教師の生きる場所  
このすさまじき世界へようこそ